

# 郡上農林事務所の普及活動状況

平成 30 年 10 月 31 日現在

## 今月の重点活動

### ■ 定年帰農者 定年退職者向け圃場見学会を開催

10月6日、中濃地域就農支援協議会郡上支部の主催で定年退職者を対象とした圃場見学会を開催した。農業普及課は協議会の一員として見学会の企画運営・見学先の選定・関係機関との連絡調整を行った。

J Aや市の広報を見て応募した5名は、公務員等を退職して農業を始めた方から就農の動機などを聞きながらハウスの見学や収穫体験を行った。また、協議会の構成員であるJ Aや市から生産組織・直売所への加入方法や各種支援策について情報提供を行った。

昨年の見学会参加者の中には、本格的な就農に向けて研修を始める方も出てきた。今後もこのような取組みにより多様な担い手の確保に繋げていきたいと考えている。



【定年帰農者の先輩から話をきく様子】

## 新たなブランドづくり

### ■ GAP 推進 GLOBAL.G.A.P 審査立会

10月4及び5日、有限会社ひるがのラファノスのGLOBAL.G.A.P 認証審査が行われ、農業普及課はこの審査に立会した。

認証審査の対象品目は、だいこん・にんじん・トマトの3品目で、当該法人は昨年春から認証取得に向けての準備を進めており、農業普及課も書類整備や現場の改善等を指導する中で、審査基準に適合する農場づくりを進め、今回の審査に至った。

審査は現場確認に半日、書類確認に1日半を費やして行われた。

当該法人のGAP担当者は「GAPに取り組んだ事で、会社としてやるべき事が明確になった」と話しており、GAPへの取組みが会社の運営に良い効果を及ぼしていると感じられた

農業普及課では、書類整備の見直しや現場での管理等について引続き支援を続けていく。



【審査を受けた農場】

## 売れるブランドづくり

### ■ 夏秋トマト 技術研究部会圃場巡回

郡上園芸特産振興会夏秋トマト部会の技術研究部会では、9月28日に圃場巡回を行い、取組内容の確認や栽培上の問題について意見交換を行った。

当日は品種試験の評価やハウス補強資材の利用、高温による生育不良への対策技術などについて検討した。この中で農業普及課は各々の取組みについて助言を行うと共に、技術研究部会で進めている岐阜県GAP確認制度への申請に向けた最終確認を行い、農場審査に向けたスケジュール調整を行った。

農業普及課は技術研究部会が夏秋トマト部会の技術面のリーダーとして行う活動をこれからも支援していく。



【部会員より品種試験の説明を受ける】

## ■大麦 栽培研修会開催

郡上市八幡町・美並町・明宝では、農業法人や担い手農家が水田への転換作物として大麦を栽培しており、今年度は38haの播種計画がある。

11月の播種作業を前にした10月18日、美並町麦作推進協議会の主催による栽培研修会が開催された。当日は、町内の麦作5法人の他農業普及課職員、JA営農指導員、郡上市職員など11名が出席して播種に向けた打合せを行った。この中で農業普及課は、平成30年産で取組んだ施肥試験の結果について報告し、基肥増量や出穂期追肥が単収や品質の向上に繋がった事を説明した。また、今年度は従来から作付しているミノリムギに比べて、草丈が短いため倒伏し難く成熟期が早い、シュンライの試作を提案し麦作法人から承諾を得た。

今後、農業普及課では大麦の適期播種を指導すると共にシュンライの生育経過を把握し、現地での適合性を見てゆく事としている。



【研修会の様子】